

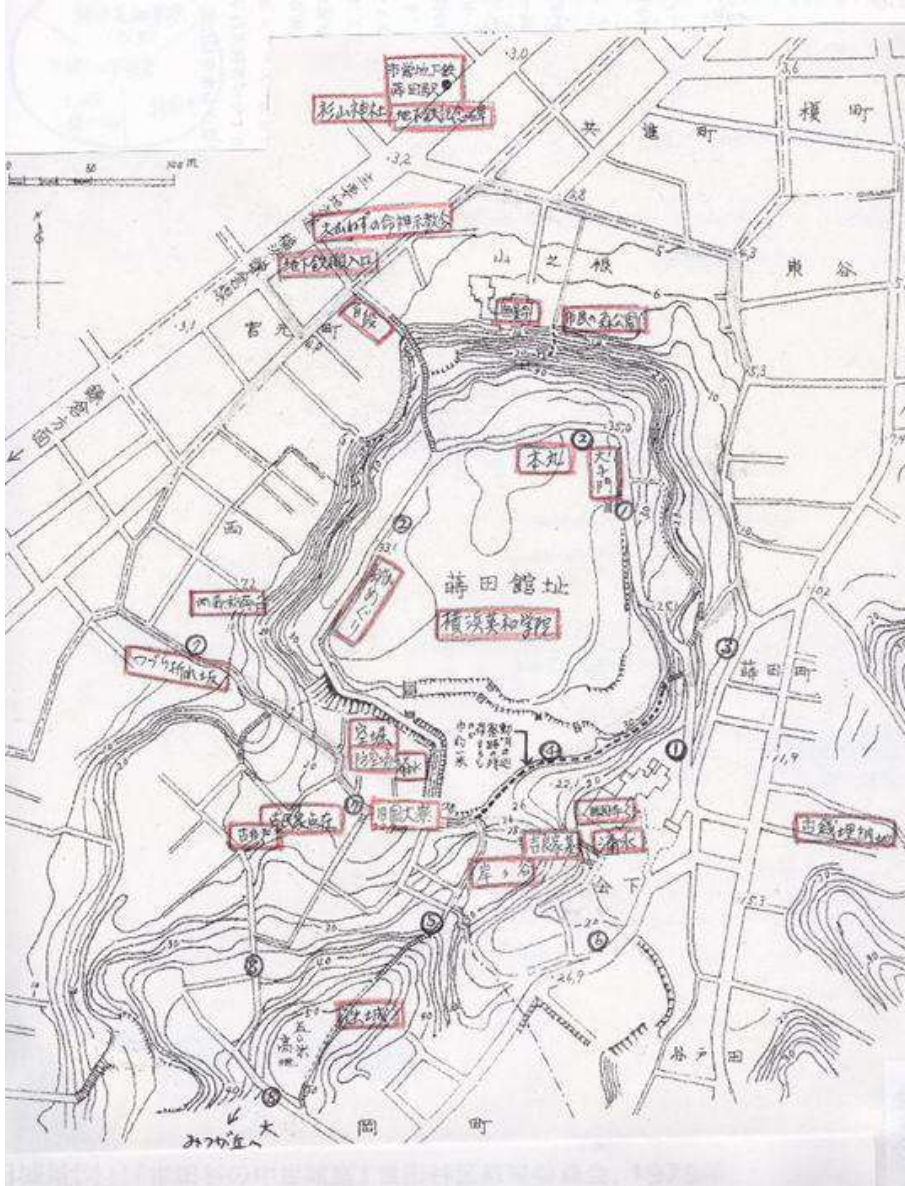
まぼろしの蒔田城址散策

2022・11・23

南区郷土の歴史研究会

<http://minami-rekishi.main.jp/index.html>

蒔田コミュニティハウス

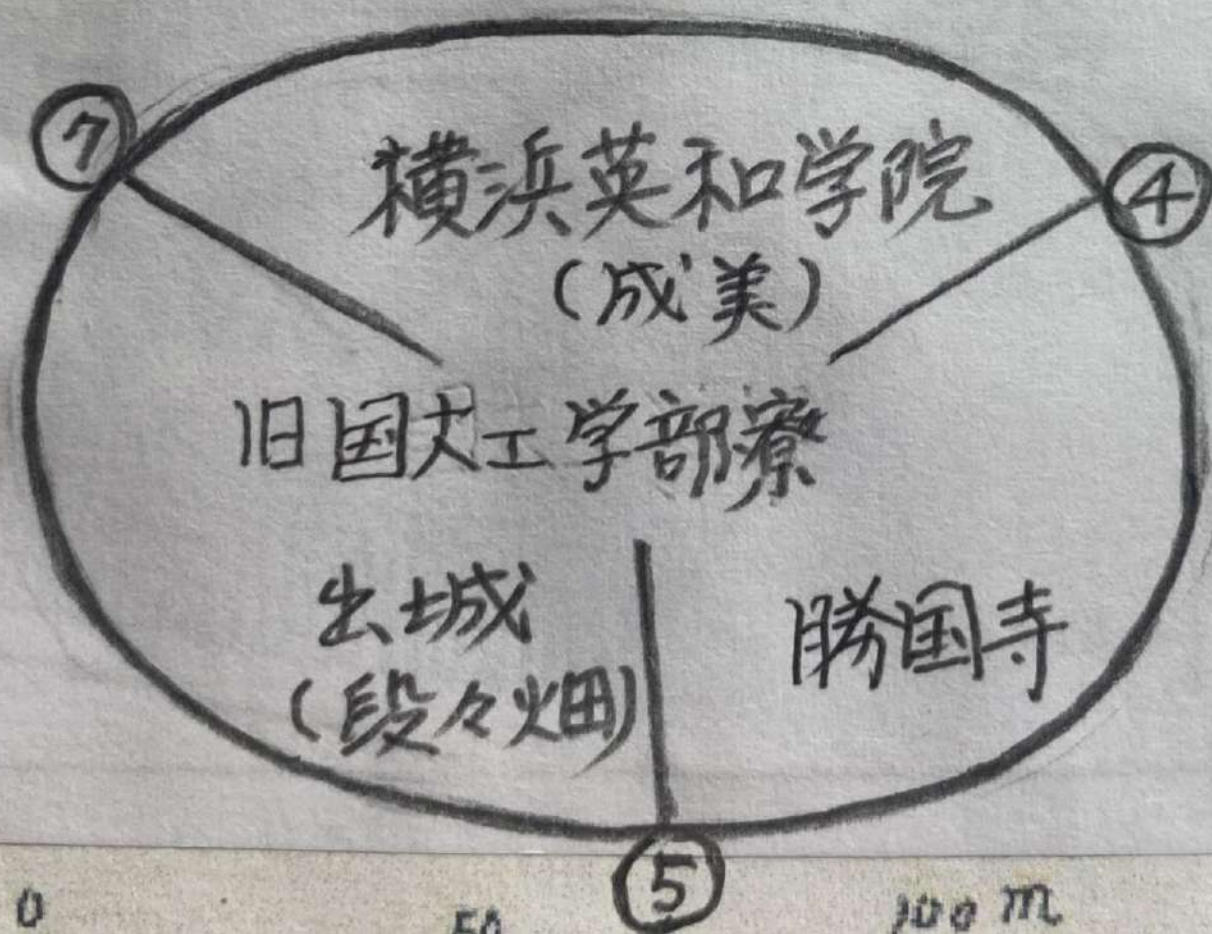


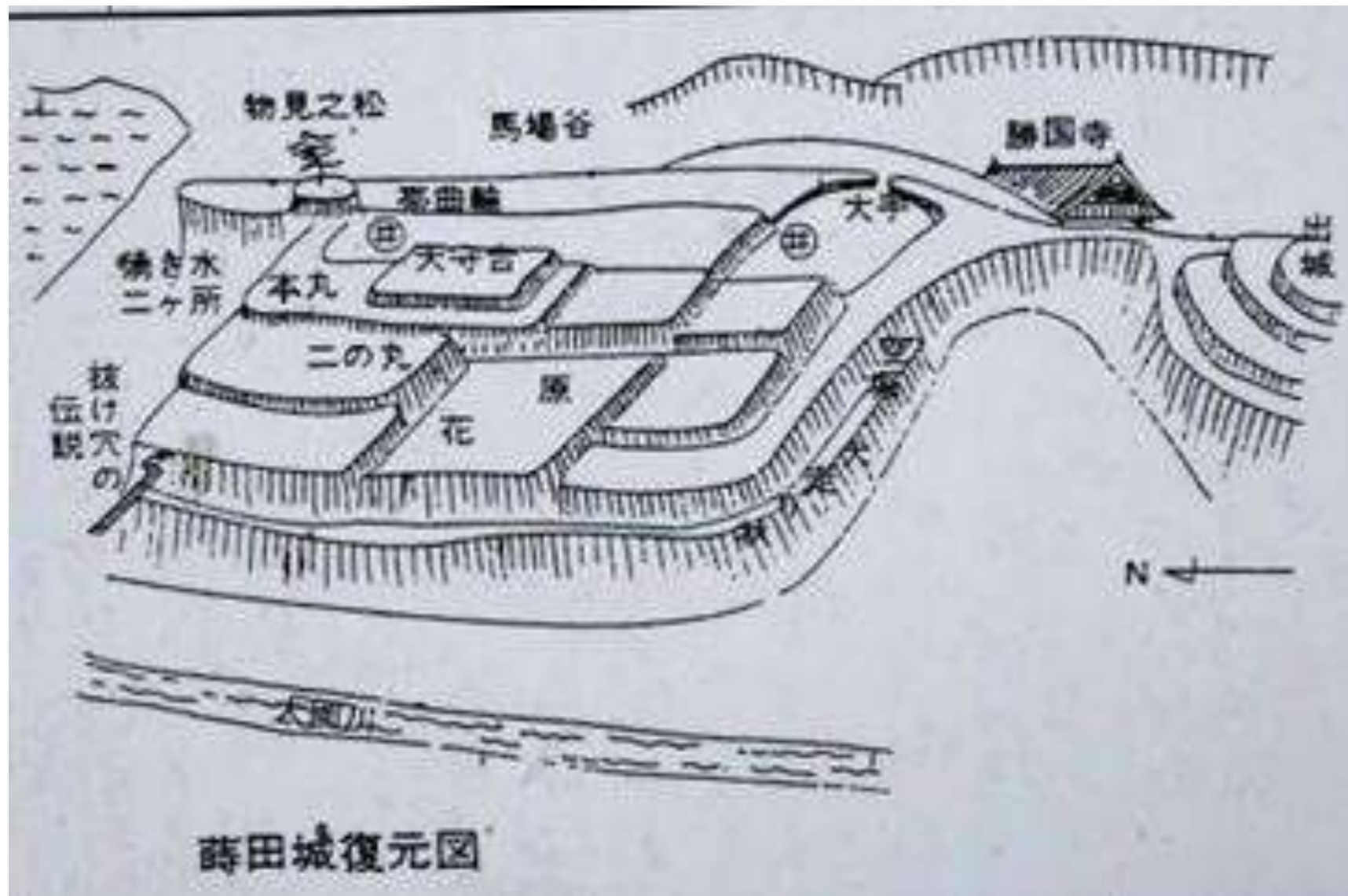
城址周辺の坂と道

- ①大手門坂
- ②城めぐり
- ③辰巳門通り
- ④巡察路
- ⑤出城坂
- ⑥勝国寺坂
- ⑦つづら折れ坂
- ⑧大岡坂

東側・蒔田町側を大手口、西側・大岡町口を搦手口
『蒔田城址図』世田谷教育委員会

丘一体と城山・清水台と呼ぶ。





蒔田城の復元図

西ヶ谷恭介氏
『神奈川の城』より



蒔田城周辺模型（横浜英和学院歴史部制作）

出城跡

平成初め頃までは段々畑
として残されていた
(往時の出城の地形)



城址南側の削平地が残る丘陵

蒔田の丘と物見の松（大正期の写真）





地下鉄搬入口

蒔田駅 1972年12月16日地下鉄開業
第1号はこの地で搬入された



百段坂

1923年横浜市の協力により西口に150段の石段完成



西森稻荷神社

西方からの災厄を防ぐため
岩肌にそそり立つ守り神



つづら折れ坂

鎌倉道から城へ通じる唯一の道

ある寮生の思い出

・昭和22年卒のある寮生の思い出（国大工学部50年史より）
岸ヶ谷の丘にあったつづら折れの坂道を上がると民家が絶えかなり広々とした畠を前にして、庭にはかなり古い桜が毎年春を告げていた。背後には成美女学校、畠を隔てて森木立にかこまれた寺があった。（注）大岡村あたりは嘗ては「岸ヶ谷」と呼ばれていた。50年史には民家を借りた第一寮は大岡町岸ヶ谷の山腹と記されている。

【前夜祭】10月28日午後4時一発の花火とともに1200名が青年隊を先頭にちょうちんをかざし大行進。学校正門より大岡町、関外、関内、県庁、商工会議所、市役所、横浜公園。
午後9時 万歳三唱散会。

勝国寺墓地の吉良氏供養塔



勝国寺本堂





大手門跡

横浜英和学院正門が大手門であった。
礼拝堂付近に本丸・天守閣があった。

なお礼拝堂内のステンドグラスは
日本人作成の最古の作品である。



辰巳門跡

吉良家の家老森家の表門の
あったところ



南龍山無量寺

1209年源頼朝の息子貞暁が開いた。屋根の鬼瓦は安土桃山時代の作品。

お疲れさまでした。

本日は、ご参加いただき、
誠にありがとうございました。

